

# 南日本新聞（令和四年十一月七日）

男女共同参画学びの広場の話題が紹介されました



## 児童や保護者 共同参画学ぶ

出水・下水流小

出水市の下水流小学校で、男女共同参画に関するワークショップがあった。4、5年生と、6年生、保護者に分かれて受講し、性別にとらわれず個性や考え方を尊重する重要性を学んだ。

1日に開かれた。6年生は、言葉の指示だけを聞いて図形を組み合わせた絵を描くことを体験。互いに絵を見せ合い、出来上がりが一人一人違うことを改めて意識した。

講師を務めたオフィスピュア（鹿児島市）の高崎恵さんは「違いは間違いではない。みんな違っていい。性別にかかわらず得意なことを伸ばす、力を発揮していくことが必要」と呼びかけた。（山本輝志）

=感想=

- ・ 友達にYouメッセージで、「○○できないの!」などの言葉を使っていて、友達を傷つけていることを知りました。
- ・ それぞれの違いや個性を受け入れていくことを大切にしていきたいと思います。



児童ワークショップ



おなじ指示を聞いて絵をかいたり、背中にはられたシールで「しゃべらないで」グループに分けられたりしました。「Iメッセージ」を使って伝えることで、自分が伝えたいことに向き合うことが大事なことを学びました。



保護者ワークショップ



教職員セミナー